



# みやざきだい

## 学校評価アンケートの結果

令和4年度は、配信メール「ミマモルメ」を利用してアンケートをとらせていただきました。たくさんの保護者の方がアンケートに回答してくださいました。ご協力ありがとうございました。

令和4年度は感染症対応のため教育活動の制約はありましたが、運動会や学習発表会、校外学習や講師を招いた学習など少しずつ行うことができる活動が増えてきました。保護者の皆様に参観していただく行事についてはご不便をおかけしたことが多々ありましたが、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。

学校評価の各項目の結果は、次の通りです。見えてきた課題や来年度に向けての本校の方針も併せてお読みいただければ幸いです。

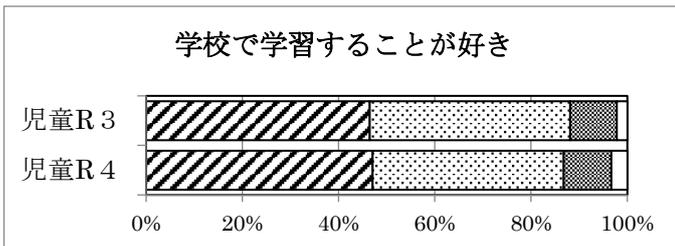
### 1. 「主体的に学ぶ力を育む学校」について

昨年度との比

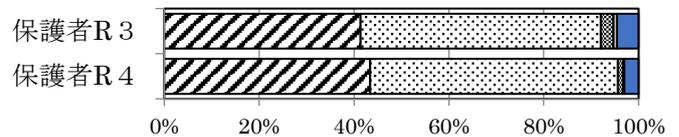
R3：令和3年度

R4：令和4年度

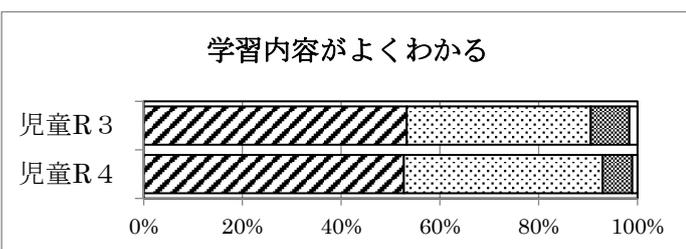
#### ① 学ぶ楽しさや喜びを味わえる授業づくり



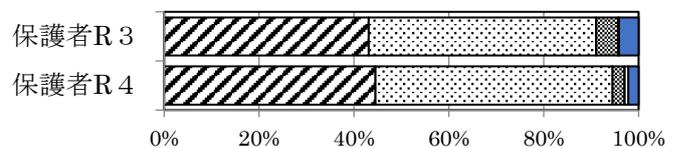
学校は、子どもたちのものの見方や考え方が広がったり深まったりするような授業づくりに努めている



#### ② 多様な学習方法の工夫と効果的な指導の充実



学校は、体験活動を取り入れたり指導形態を工夫したりして、わかる授業に努めている

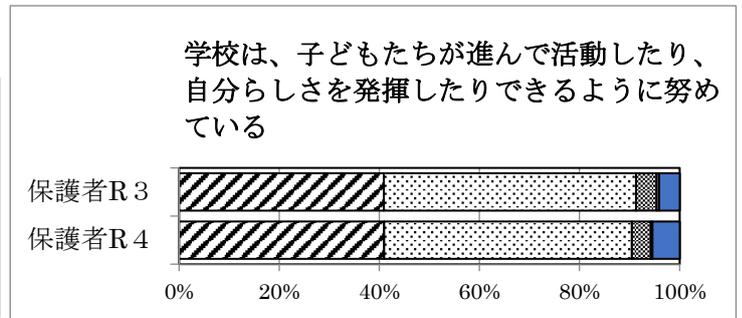
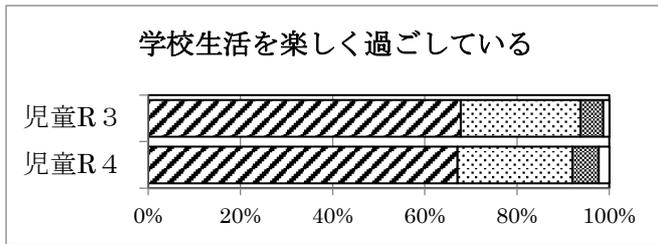


子どもたちの「学習が好きである」について、「とても思う」は増えているが「思う」までとなると昨年度よりもプラスの評価が若干減っていますが、「学習内容がよくわかる」については、昨年度よりもプラスの評価が増え、95%を超えています。また、保護者からの「考え方が広がったり深まったりするような授業づくりに努めている」、「体験活動を取り入れたり指導形態を工夫したりしてわかる授業に努めている」の項目の評価は、共に昨年度より増え、95パーセントとなっています。

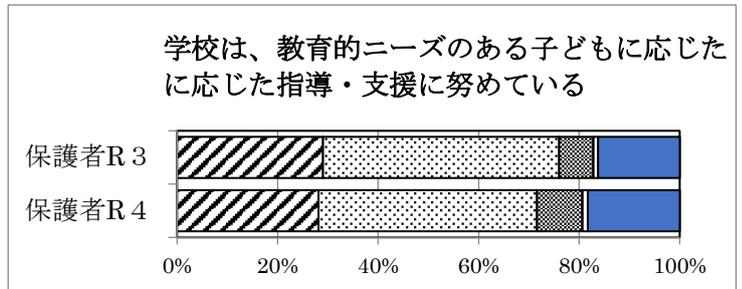
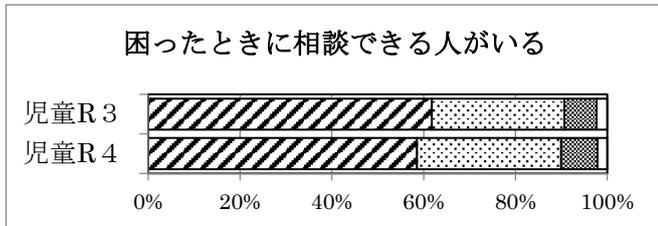
感染対策を講じながら体験学習やグループ活動を通した学び合いに力を入れたり、学年間での交換授業を積極的に行ったりしたことが、授業づくりについて保護者の方から評価していただいたことや子どもたちが「学習内容がよくわかる」と実感していることにつながっていると考えます。その一方で「学習することが好き」と実感できていない子どもたちもいます。教職員としては、生活科や総合的な学習の時間の校内研究・研修を進めたり、学年会等で学習指導方法の検討や共通理解を図ったりして、子ども達が学ぶ楽しさを感じながら学習内容をしっかりと理解できるように努めてまいりました。今後も、教職員一人一人、そして学年で協力しながら指導方法を工夫し、子どもたちが主体的に学びに向かう姿の育成に努めてまいります。

## 2. 「自他を尊重する心を育む学校」 について

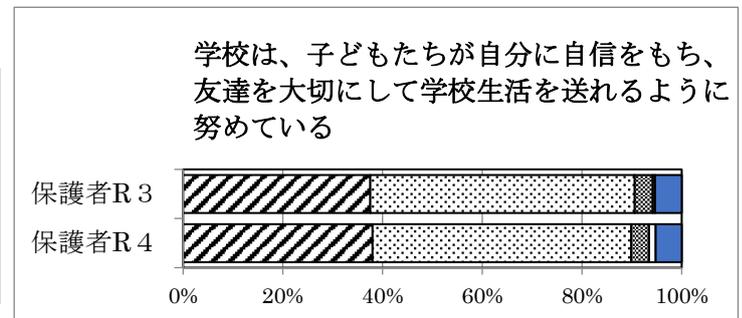
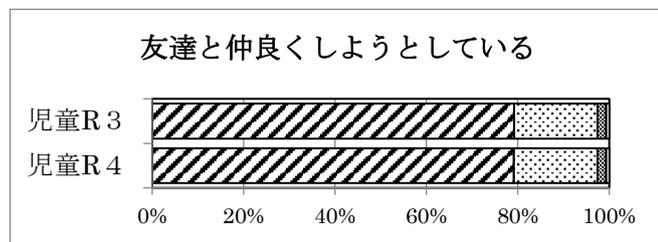
### ③ 一人ひとりを大切にした学級経営



### ④ 支援体制の確立と推進



### ⑤ 認め合う心・豊かな心の育成



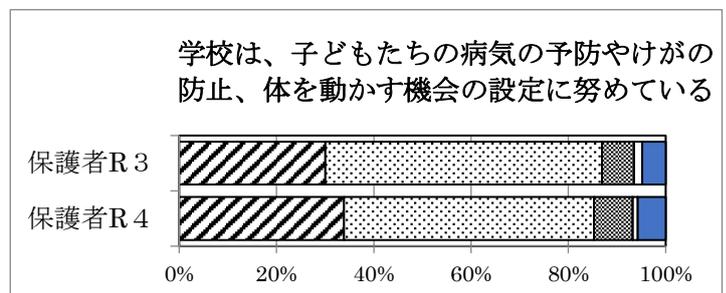
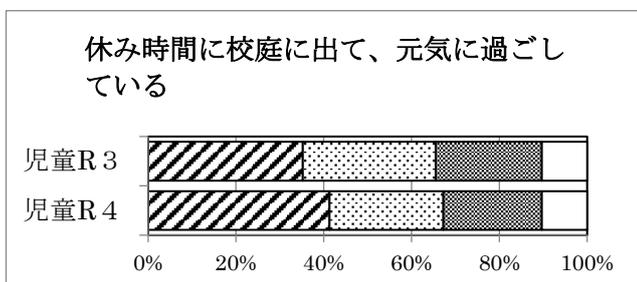
「学校生活が楽しい」「困ったときに相談できる人がいる」という子どもは、若干プラスの評価が下がっていますが、「友達と仲良くしようとしている」については、昨年度同様に98%以上と高い評価となっています。

保護者については、「子どもたちが進んで活動したり、自分らしさを発揮したりできるように努めている」、「子どもたちが自分に自信をもち、友達を大切にして学校生活を送れるように努めている」のプラスの評価については、90%以上の高評価となっています。一方「教育的ニーズのある子どもに応じた指導・支援に努めている」の項目については、昨年度よりもプラスの評価下がっています。

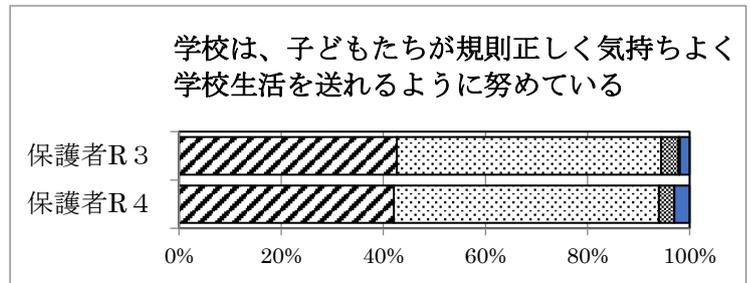
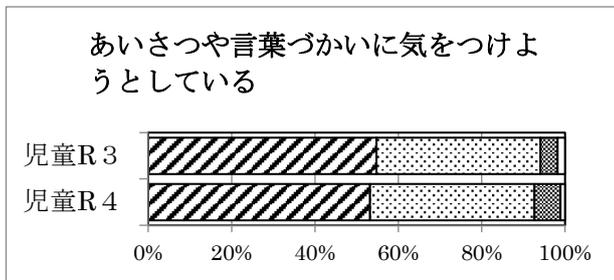
子どもたちが自他を尊重し、自己肯定感を高めながら安心して学校生活を送ることができることは大切なことだと考えています。何か困ったときには担任をはじめ教職員に相談しやすい環境づくりに努めたり、友達に対して思いやりをもって接することの価値や大切さを学習をはじめ日々の生活の中で伝えたりしていきたいです。また、近年、様々な教育的ニーズのある子どもたちが増えていることから、「支援教育コーディネーターを中心とした指導支援体制の構築」にさらに力を入れてまいります。そのためにも、子どもたちに対して学校生活のアンケートを定期的にとり、それをもとに、担任と1対1で行う面談を継続し、一人一人の子どもの困り感を共有し、個に応じた指導・支援を保護者の方と連携して行ってまいります。

## 3. 「健康な心身を育む学校」 について

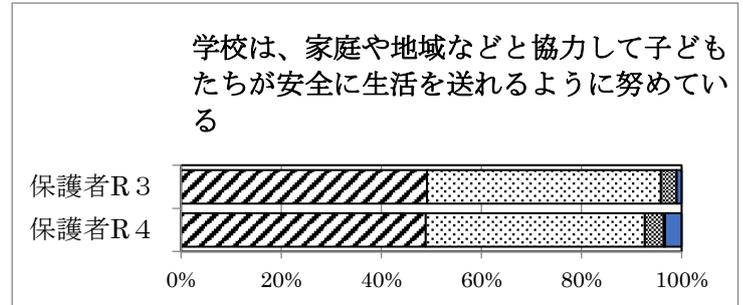
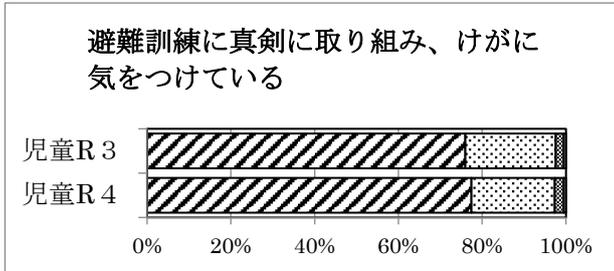
### ⑥ 健康・体力の向上



## ⑦ 基本的な生活習慣の確立



## ⑧ 適切な準備・対応



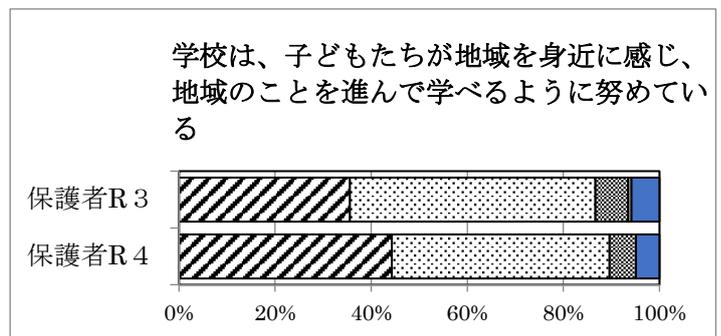
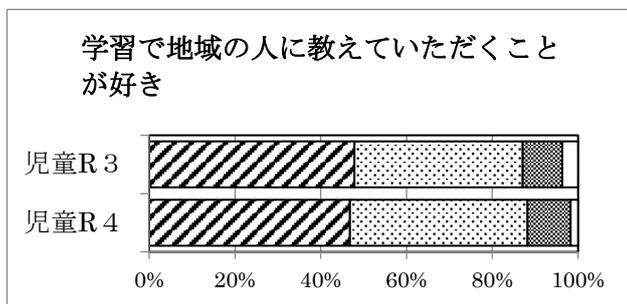
「健康・体力の向上」の項目については、子どもたちの「とても思う」、「思う」のプラスの評価、保護者の「とても思う」の評価が増えました。これは、少しずつ感染防止に向けた制限が緩和され、委員会を中心に運動する機会を増やしてきた結果と考えます。具体的には、スポーツ委員会の継続的なボール投げの記録会の実施や縄跳びカードの配付が今年度の取組として行われています。また、放課後遊びを再会したり、放課後遊びにおいてサッカーを行うことができるようになったりしたことも要因の1つと考えます。教職員としては、運動する機会が減少傾向にある子どもたちのために、子どもたちの興味関心を大切に運動する機会の確保に努めていきます。

「基本的な生活習慣の確立」の項目については、子どもたちで若干の減少、保護者では昨年同様の評価となりました。児童会を中心にあいさつ団を計画しましたが、感染状況から制限があり、多くの活動を行うことができませんでした。今後は、感染状況を考慮しながら活動を増やし、より一層学校にあいさつの輪が広がることに努めたいと思います。言葉づかいについては、相手を思いやる心と共に、教職員一同で指導体制の見直しを図り、指導にあたっていきます。

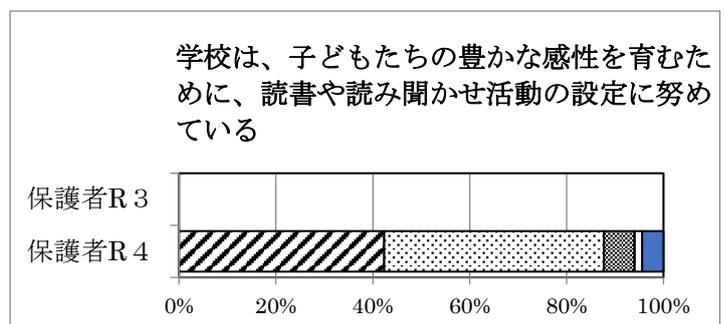
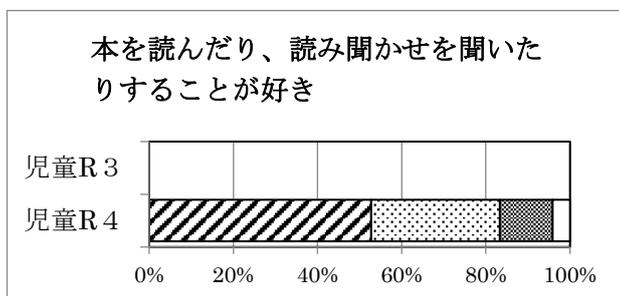
「適切な準備・対応」の項目については、引き続き保護者の方や地域の方と協力して登下校指導を行ったり、ミマモルメを活用したりしながら、子どもたちが安心安全に生活を送ることができるよう努めてまいります。

## 4. 「豊かな感性を育む学校」について

### ⑨ 地域協力者との連携と地域学習材の活用

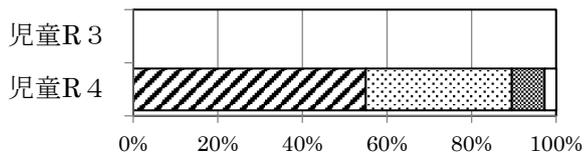


### ⑩ 情操教育の推進（読書活動）

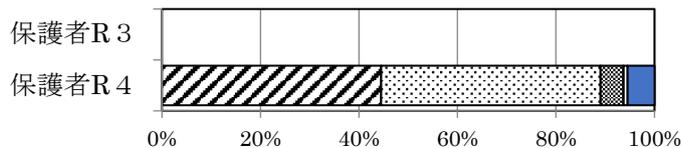


## ⑪ 情操教育（鑑賞、音楽活動、感想交流）

友達の作品を見たり、音楽で演奏を聴いたり、楽器の演奏をしたり、友達と感想を伝え合ったりすることが好き



学校は、子どもたちの豊かな感性を育むために、図工での作品鑑賞、音楽鑑賞や楽器の体験、友達との感想交流などを行うように努めている

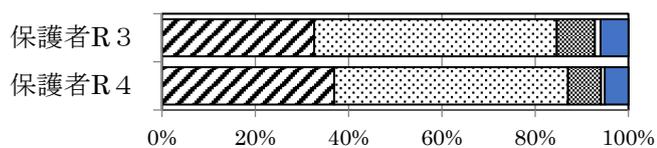


「地域の人に教えていただくことが好き」という項目では、子どもたちの「そう思う」、「思う」のプラスの評価が昨年度より増えました。「地域を身近に感じ、地域のことを進んで学べるように努めている」と感じている保護者の割合は大幅に増えています。本校では今年度から生活科・総合的な学習の時間の校内研究をスタートしました。生活科・総合的な学習の時間では地域との関わりを大切にし、子どもたちが地域に何度も足を運んだり、地域の方をゲストティーチャーに招いたり、幼稚園生との交流を行ったりする活動を積極的に進めてきました。教職員も熱心に教材研究を行っています。

学校教育目標に合わせた項目として、今年度から「情操教育（読書活動）」、「情操教育（鑑賞、音楽活動、感想交流）」についてアンケートを取りました。子どもたち、保護者共に、どちらの項目においても高いプラスの評価となっています。今後も子どもたちの豊かな感性を育むために、読書活動や作品鑑賞、音楽活動、友達との感想交流の充実を図っていききたいと思います。

## ⑫ 開かれた学校づくり

学校は、学校の方針や子どもたちの様子を伝え、保護者や地域の方の声を教育活動にいかそうと努めている



「学校の方針や子どもたちの様子を伝え、保護者や地域の方の声を教育活動にいかそうとしている」と感じている保護者は、85%程度で昨年度より増加しました。授業参観を分散型で実施するなど来校して子どもたちの姿を見ていただく機会の確保、学校生活の様子や学校日より、学年日よりなどのお知らせをホームページに掲載する努力はしてきました。今後も開かれた学校づくりのためにホームページ等で情報を公開していくとともに、アンケートや懇談会などを通して保護者や地域の方のご意見をうかがい教育活動を見直してまいります。

### <まとめ>

今年度から学校教育目標に合わせた項目ごとにアンケートの形をリニューアルさせていただきました。宮崎台小学校の子どもたちに育みたい4つの目標にそって、アンケート結果を分析し、今後の学校生活に生かしていきたいと思えます。

自由記述欄に学校の取り組みに対して気付かれたことや感想を書いてくださった方もいらっしゃいました。ありがとうございました。

中でもGIGA端末に関するご意見をいくつかいただきました。「操作や活用方法を学ぶ機会が増える一方で、休み時間にも利用し、外での活動を行わない子どもが増えていることが気掛かり」「休み時間に友達と遊ぶのではなく、イヤフォンをしてGIGA端末に夢中になっている姿に違和感を感じている」などGIGA端末に夢中になりすぎることを心配しているご意見をいただきました。かわさきGIGAスクール構想推進協力校としてGIGA端末の使用、活用の推進を進めてきましたが、教職員の中でも子どもたちの使用の仕方について見直す声があがり、より有効な活用の仕方について考え、12月より新しいルールのもとGIGA端末を使用しています。ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

行事予定について、「昨年度よりも早めの予定のお知らせに感謝します」というご意見をいただく一方、今年度も「行事予定をもっと早く知らせてほしい」というご意見をいただきました。今年度は、学校だけを前月に配付するようにしてきました。感染症の状況により日付の変更や実施方法の決定が間近になることもありましたが、学校だよりの裏面に主な2ヶ月分の予定をお知らせしていますので、ぜひ、ご活用ください。

情報発信に関しましては、学校だよりの学年だよりに加えて、今後も行事日程や子どもたちの教育活動について配信メールやホームページを活用し、速やかな発信に努めます。

学校の教育活動の成果は、子どもの姿、子どもの声に表れるものと考えております。子ども達の学校生活がより充実するように、今回いただいた保護者の皆様や子どもたちからの声を受け止め、来年度に向けた教育活動の見直し・改善に取り組んでまいります。

これからも本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。